12/6 Wed 初日 全日本王座ドリーム

地元の総大将である**瓜生正義**が初日ドリーム戦の1号艇に座る。過去3年の当地イン15走で1着率80%と高水準。前回70周年、5月オールスターもすべて逃げて勝利。負けられない地元インで気迫の逃げを打つ。追撃するのは**菊地孝平**だ。今年序盤のビッグレースでは予選突破できない時期も続いたが、近況は9月住之江、10月びわことGⅠ優出。11月徳山ではGⅠ制覇も果たした。スリットから的確に仕掛けてのまくりか、狙い澄ました差しか。攻め手多彩に迫る。**山口剛**も脅威。優勝した9月桐生、10月多摩川の両GⅠは、いずれも3コースから鮮やかなまくり差しを決めている。高度なテクニックに裏打ちされた巧みなターンで艇間を切り裂く。10月GⅠ2優出の**篠崎元志**もカドから攻撃力を発揮し内枠勢にプレッシャーをかける。今年も3連対率70%近くで推移する**中島孝平**、今年10月までSG3優出の**茅原悠紀**もコース不問。見どころたっぷりのレースを披露する。

芦屋、最恐、王者、襲来。

1号艇 瓜生 正義

3783 | 福岡 | A1

当地通算42優出16Vはいずれも出場全選手最多。近年も21年オーシャンカップ準V、今年5月オールスター優出と結果を出し続ける水面。GⅠは13年61周年、14年九州地区選V。当地3度目のGⅠVを狙う。

2号艇 菊地 孝平

3960 | 静岡 | A1

21年オーシャンカップや前回70周年でフライングとここ数年当地では苦汁を舐めるが、当大会は08年56周年を制覇、12年59周年と13年61周年は自身出場連続優出と実績は頼もしい。攻めの姿勢でV奪取だ。

3号艇 山口 剛

4205 | 広島 | A1

当地参戦は21年オーシャンカップ以来。当大会では16年63周年で優出しているが一般戦含め通算5優出ながらVはない当地。だが今年は15年以来のGⅠ複数優勝とノッており、勢いに乗って当地初優勝の期待十分。

4号艇 篠崎 元志

4350 | 福岡 | A1

当大会は58、62～64、67、68周年優出。21年オーシャンカップは優勝戦進出と当地での安定感は随一。昨年は年内最終レースで優勝して、今年SGクラシック出場につなげた。今大会でもドラマは見られるか。

5号艇 中島 孝平

4013 | 福井 | A1

芦屋通算7優出2Vで当大会は09年57周年優出の実績がある。ここ5年はSG2節、GⅠ1節、一般戦2節にとどまる当地だが3度の予選突破、優出1度とグレード問わず安定的かつきっちり結果を残している仕事人。

6号艇 茅原 悠紀

4418 | 岡山 | A1

当地のGⅠは12年新鋭王座決定戦で準V。ただ目立つ実績がそれだけでは岡山のエースとしては物足りないはずだ。前回当地は5月オールスターだが1号艇で臨んだ準優で勝利に見放された。そのリベンジに気合が入る。

12/7 Thu 2日目 アシ夢ドリーム

峰竜太のイン戦が中心だ。4月津でGⅠ復帰後初優勝、10月蒲郡ダービーでSG復帰即優勝し通算100V達成。自身出場4連覇だった当地周年(64～66、68周年)は前回70周年で途切れたが、今回はそのリベンジも原動力となるだろう。過去5年の当地イン23戦20勝と信頼性も抜群だ。2コースから1着を狙うのは**濱野谷憲吾**。21年オーシャンカップ、今年オールスター準Vと当地SGで存在感を示している。華麗なターンで峰の快走を許さない。自在に攻略にかかるのは**桐生順平**。SG3冠の男は今年も7月児島オーシャンカップで優出するなど常に一線級で活躍。迫力のコーナーワークで観衆を沸かせる。**寺田祥**は、過去3年の当地4コースは6走2勝2着1本3着1本。優勝した前回大会もV戦は4コースだった。12年59周年王者の**平本真之**も覇権を取り戻すべく一走入魂の走りを披露。このドリーム唯一地元勢の**西山貴浩**も気合全開のレースでファンの期待に応えてくれるはずだ。

1号艇 峰 竜太

4320 | 佐賀 | A1

09年九州地区選でGⅠ初優出初Vを飾った当地。その後に数多くの栄光を積み上げたスターレーサーにとって原点ともいえる水面。前回70周年で途切れてしまった大会自身出場連続V。今回は覇権奪還もテーマとなる。

2号艇 濱野谷 憲吾

3590 | 東京 | A1

SG5冠目となった21年オーシャンカップV、また今年5月オールスター準Vと当地SGで活躍。当大会も47、48、54周年と優勝3度。ビッグレースで結果を重ね当地通算5優出4V。ここ一番の決定力はピカー。

3号艇 桐生 順平

4444 | 埼玉 | A1

22年7月一般戦で意外にも当地初優出。ただ今年オールスターをはじめSGでは4戦で予選突破が3度と水面相性は問題ない。当大会は13年61周年以来と久々登場。そろそろ当地でも新たな勲章を手に入れておきたい。

4号艇 寺田 祥

3942 | 山口 | A1

前回大会王者。2艇フライングとなった波乱の優勝戦だったが、4コースから冷静にまくり差しを決めて節目のGⅠ通算10度目Vを達成。今大会はディフェンディングチャンピオンとしての意地とプライドを懸けて臨む。

5号艇 平本 真之

4337 | 愛知 | A1

当地12年59周年でGⅠ初優勝。また当大会は17年65周年、前回70周年優出の実績。SGも21年オーシャンカップ優出。15、18年チャレンジカップ、今年オールスターで準優進出と手堅く結果を残す水面だ。

6号艇 西山 貴浩

4371 | 福岡 | A1

エンターテイナーぶりは陸の上だけじゃない。前回70周年は当大会初となるファイナル進出を決めて水上でも大いに観衆を盛り上げた。もちろん優勝を狙う今大会。悲願の地元周年初Vに向けて攻めのレースを展開する。

TM & © TOHO CO., LTD.